

The Environmental Report of Izumo City

出雲市環境レポート

平成23年度(2011)のまとめ

出 雲 市

はじめに

本市では平成19年3月に「出雲市環境基本計画」を策定しました。この計画では、古くから受け継がれてきた豊かな自然の恵みをはじめとする本市のすばらしい環境を次世代に伝え、環境に優しい取組を積極的に行っていくため、「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」を目指して、市の環境施策や市民及び事業者の環境に関する行動指針を定めています。



出雲市民の誓い「イメージイラスト(環境)」

また、地球温暖化への取組を地域から推進していくための関連計画として、平成19年3月には市役所からのCO₂排出抑制を目指した「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅡ」を、平成20年2月には市民・事業者・市の具体的な行動指針である「出雲市地域省エネルギービジョン」を、それぞれ策定しました。

「出雲市環境レポート」は、これらの計画で定められた施策や目標の進捗状況を点検・評価するとともに、多くの市民の皆様がご覧になることで環境への関心を高め、情報を環境保全活動に活用していくことを目的に、毎年発行することとしています。

も く じ

| | |
|--------------------------------|----|
| 達成率でみる、平成23年度(2011)のまとめ | 1 |
| 基本目標1 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち | 2 |
| 基本目標2 人と自然がふれあい ともに生きるまち | 5 |
| 基本目標3 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち | 7 |
| 基本目標4 「もったいない」の心で築く 循環型のまち | 9 |
| 基本目標5 地球を考え 地域から実践するまち | 10 |
| 基本目標6 とともに学び行動する 環境意識が高いまち | 13 |

現行の環境基本計画は斐川町との合併前の出雲市を対象としていますが、このレポートでは斐川地域を含めた出雲市の現状値も記載しています。ただし、斐川地域を含めた値は、参考値として括弧書きで併記しております(記載の性質がなじまないものなど一部併記が無いものもあります)。

≪記載の一例≫

上段の値が中間目標値を達成していれば着色しています。

上段:斐川地域を除く値
下段:斐川地域を含む値

| 目標設定項目 | H17(2005) 計画策定時 | H22(2010) 前年実績値 | H23(2011) 現状値 | H23(2011) 中間目標値 | H28(2016) 最終目標値 |
|--|--------------------|--------------------|------------------|--------------------|--------------------|
| 針葉樹・広葉樹の植林面積(ha) ※年間値、1haあたり約3,000本 | 6.5 | 0.8 | 10.0 (10.2) | 6.5 | 6.5 |

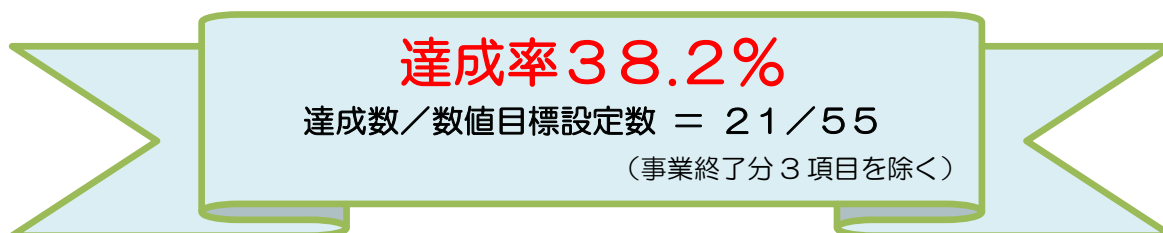
達成率でみる、平成 23 年度 (2011) のまとめ



環境基本計画では、目標を明確にするために施策ごとに数値目標を設定しており、以下に平成 23 年度における数値目標の達成率（目標数に占める達成数の割合）を示します。

自然環境に関する項目（基本目標 2）は、比較的達成率が高いのに対し、廃棄物に関する項目（基本目標 4）、地球温暖化防止に関する項目（基本目標 5）では、多くの項目が達成できませんでした。循環型社会の構築や地球温暖化防止などに特に力を入れて取り組む必要があります。

■平成 23 年度の数値目標達成率



■施策の柱別の数値目標達成率内訳

基本目標 1 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち【生活環境の目標】

| | | |
|--------------|-----------|---------------------|
| 大気環境の保全 | 達成率 25% | (達成数/数値目標設定数 = 1/4) |
| 水環境の保全 | 達成率 62.5% | (達成数/数値目標設定数 = 5/8) |
| 健康に暮らせる環境の保全 | 達成率 33.3% | (達成数/数値目標設定数 = 1/3) |

基本目標 2 人と自然がふれあい ともに生きるまち【自然環境の目標】

| | | |
|-------------|----------|---------------------|
| 野生動植物との共生 | 達成率 100% | (達成数/数値目標設定数 = 1/1) |
| 豊かな自然とのふれあい | 達成率 50% | (達成数/数値目標設定数 = 1/2) |
| 森林と農地の保全と再生 | 達成率 60% | (達成数/数値目標設定数 = 3/5) |

基本目標 3 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち【快適環境の目標】

| | | |
|------------|---------|---------------------|
| 景観保全と緑地の確保 | 達成率 60% | (達成数/数値目標設定数 = 3/5) |
| 環境美化の推進 | 達成率 50% | (達成数/数値目標設定数 = 2/4) |

基本目標 4 「もったいない」の心で築く 循環型のまち【循環型社会構築の目標】

| | | |
|---------------|--------|---------------------|
| 廃棄物対策と資源循環の推進 | 達成率 0% | (達成数/数値目標設定数 = 0/5) |
| 環境と経済の好循環の推進 | 達成率 0% | (達成数/数値目標設定数 = 0/3) |

基本目標 5 地球を考え 地域から実践するまち【地球環境の目標】

| | | |
|------------|-----------|---------------------|
| 地球温暖化防止の取組 | 達成率 14.3% | (達成数/数値目標設定数 = 1/7) |
|------------|-----------|---------------------|

基本目標 6 ともに学び行動する 環境意識が高いまち【環境学習や環境保全活動の目標】

| | | |
|----------------|-----------|---------------------|
| 環境学習・環境保全活動の推進 | 達成率 20% | (達成数/数値目標設定数 = 1/5) |
| 環境情報の提供と共有 | 達成率 66.7% | (達成数/数値目標設定数 = 2/3) |

基本目標 1

澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち

■大気環境の保全

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|---|-----------------------------|---------------------|------------------------------|---------------------|---------------------|
| 大気汚染測定値 (SPM) (mg/m ³) ※環境基準値 0.1mg/m ³ | 0.022 (H16 年度) | 0.019 | 0.015 | 現状維持 | 現状維持 |
| 市の廃食用油回収による バイオディーゼル燃料 製造量 (ℓ) | 28,230 | 14,600 | 15,600 (22,636) | 60,000 | 80,000 |
| 通勤距離 3km 未満の市職員 のノーマイカー通勤率 ※〔 〕は上記職員のマイカー 利用による CO ₂ 年間排出量 (kg-CO ₂) | 57% 〔74,400〕 (H18 年度) | 50% 〔46,154〕 | 48%〔48,958〕 (43%〔57,300〕) | 80% 〔34,800〕 | 80% 〔34,800〕 |
| 空気のきれいさに対する 満足度 ※アンケートの無回答を除く | 84% (H18 年度) | 91% | 83% (84%) | 85% | 90% |

「大気汚染測定値 (SPM)」は環境基準値を大きく下回っており、大気環境が良好に保たれていると言えます。一方で、「通勤距離 3 km 未満の市職員のノーマイカー通勤率」や「空気のきれいさに対する満足度」は低下しています。

【取組の一例】

●EV (電気自動車) を導入しました。

走行時に大気汚染物質を全く排出しない電気自動車 1 台を市の公用車として導入しました。市内の環境パトロールカーとして利用するとともに、電気自動車の普及啓発に活用しています。



市が導入した EV (電気自動車)

●エコドライブ街頭啓発を行いました。

エコドライブ推進月間である平成 23 年 11 月 9 日に市役所前交差点にて、しまね自然と環境財団と出雲市とが共催で「エコドライブ街頭啓発」を実施し、ドライバーにアイドリングストップなどを呼びかけました。

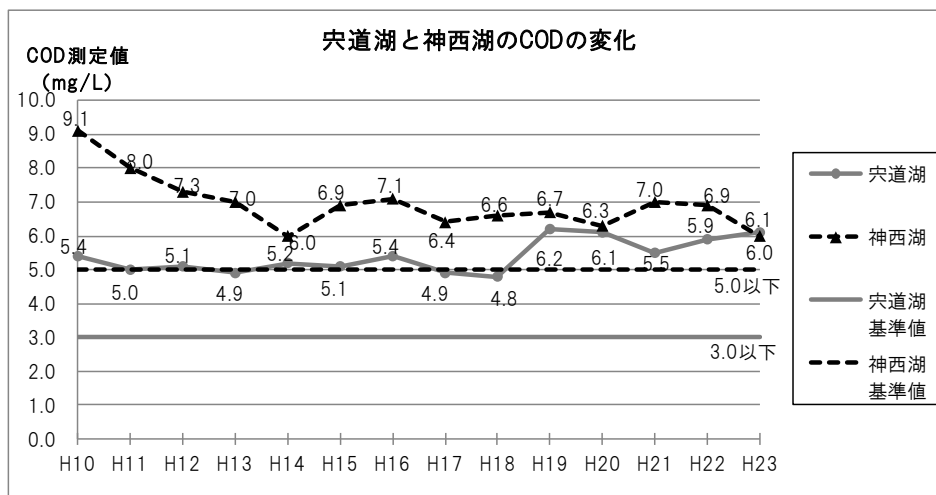


「ふんわりアクセル e スタート」などの看板を持って、ドライバーにエコドライブを呼びかけました。

水環境の保全

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|--|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 類型指定河川水質 (BOD) ※環境基準値 1mg/l (2地点)、 2mg/l (5地点) | 達成 | 達成 | 達成 | 現状維持 | 現状維持 |
| 類型未指定河川水質 (BOD) ※市独自目標 5mg/l (6地点) | 未達成 | 達成 | 達成 | 達成 | 達成 |
| 湖沼水質 (COD) ※環境基準値 3mg/l (宍道湖)、 5mg/l (神西湖) | 未達成 | 未達成 | 未達成 | 環境基準値内 | 環境基準値内 |
| 海域水質 (COD) ※環境基準値 2mg/l (おわし海 水浴場) | 未達成 | 達成 | 達成 | 環境基準値内 | 環境基準値内 |
| 水質調査箇所数 (箇所) | 43 | 43 | 43 (54) | 43 以上 | 43 以上 |
| 廃食用油回収量 (ℓ) | 28,230 | 38,368 | 37,681 (47,466) | 60,000 | 80,000 |
| 汚水処理人口普及率 | 61.4% | 74% | 75% (78%) | 77% | 87% |
| 水のきれいさに対する 満足度 ※アンケートの無回答を除く | 45% (H18年度) | 57% | 54% (54%) | 50% | 70% |

水質に関する測定値は概ね目標値を達成しており、汚水処理人口普及率も着実に上昇しています。宍道湖・神西湖に流入する河川の水質は改善傾向にあると考えられます。しかし、グラフでもわかるように、宍道湖・神西湖においては、「湖沼水質 (COD)」は依然として環境基準を超えており、原因の分析や水質改善が急がれます。



【取組の一例】

●下水道など汚水処理の整備を進めています。

出雲市では、家庭や事業所からの排水による水質汚濁対策として、公共下水道をはじめとした下水道整備を進めました。また、「個人設置浄化槽整備事業」や「市設置浄化槽整備事業」により、個人が設置・維持管理する浄化槽に対して補助金を交付するなど、汚水処理整備を行いました。

| 人槽区分 | 5人槽 | 6～7人槽 | 8～10人槽 |
|------|----------|----------|----------|
| 補助金額 | 332,000円 | 414,000円 | 548,000円 |

表:「浄化槽設置補助金」における浄化槽の大きさと補助金額(平成23年度末現在)

健康に暮らせる環境の保全

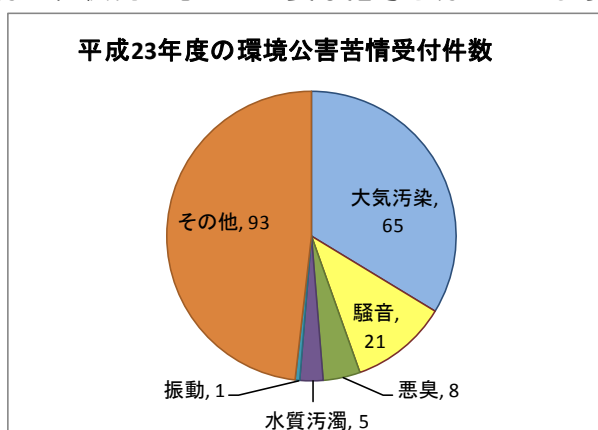
| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 騒音振動に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 64% (H18年度) | 57% | 61% (61%) | 65% | 80% |
| においに対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 68% (H18年度) | 71% | 66% (66%) | 70% | 80% |
| ダイオキシン類測定値 | 環境基準値内 (H16年度) | 環境基準値内 | 環境基準値内 | 現状維持 | 現状維持 |

「騒音振動に対する満足度」、「においに対する満足度」はともに中間目標値に達しませんでした。なお、市民アンケート調査によると、騒音振動は特に自動車に起因するものが多いという結果が出ています。

【取組の一例】

●環境公害の防止に努めています。

平成23年度の環境公害に関する苦情受付件数は193件であり、そのうちの65件が大気汚染（野外焼却など）によるものでした。苦情に対しては市の担当者が直ちに現地確認を行い、状況に応じて必要な指導を行っています。



違法な野外焼却



用語解説

SPM（浮遊粒子状物質）

大気中に浮遊する粒子状物質で粒径が10ミクロン以下のものを言います。微小のため大気中に長時間滞留し、肺や気管などに沈着して高濃度で呼吸器に悪影響を及ぼします。

環境基準

環境基本法に基づき政府が定める、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で、維持されることが望ましい基準のことです。

類型指定河川

水質汚濁の環境基準は、河川、湖沼、海域ごとに利用目的に応じた類型とその基準値が定められており、国または都道府県知事はその水域を指定します。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川の汚濁の度合いを示す指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいることを示します。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域における水中の有機物による汚濁の程度を示す代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいることを示します。

ダイオキシン類測定

ダイオキシン類とは、ものを燃やす過程で生成される毒性の高い物質のことです。法律に基づき、県が大気・水・土壌に含まれるダイオキシン類の監視を行っています。

基本目標 2 人と自然がふれあい ともに生きるまち

■野生動植物との共生

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|----------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 野生動植物の生息に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 55% (H18 年度) | 61% | 61% (61%) | 60% | 70% |

「野生動植物の生息に対する満足度」は横ばいで推移しており、中間目標値を達成しています。

【取組の一例】

●トキ学習コーナーがオープンしました。

出雲市は国際保護鳥トキの国内分散飼育地の1つとして、平成22年度からトキ分散飼育センターでトキの分散飼育を開始しています。平成23年度には、トキ分散飼育センターの近くに「トキ学習コーナー」を整備し、トキのライブ映像やく製、解説パネルの展示など、トキを身近な生きものとして親しんでもらえるように情報発信を行っています。



平成23年4月にオープンしたトキ学習コーナー

■豊かな自然とのふれあい

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 自然体験事業参加者数(人) | 600 | 1,994 | 1,180 | 1,000 | 1,500 |
| 自然体験市有施設の利用者数(人) | 110,000 | 108,133 | 103,049 | 113,000 | 116,000 |

※自然体験市有施設(うさぎ森林公園、目田森林公園、見晴らしの丘公園、浜遊自然館、風の子楽習館)

「自然体験事業参加者数」、「自然体験市有施設の利用者数」は前年度に比べて減少しましたが、「自然体験事業参加者数」については中間目標値を達成しました。

【取組の一例】

●神西湖の生きもの調査を行いました。

平成23年10月6日に神西湖で、湖陵小学校4年生が生きもの調査を実施しました。シジミやエビなどの神西湖に生息する生きものに触れ、神西湖の環境を守っていく大切さを学びました。



湖陵小学校による神西湖の生きもの調査の様子

■ 森林と農地の保全と再生

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|--|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 針葉樹・広葉樹の植林面積 (ha) ※年間値、1ha 当たり約 3,000 本 | 6.5 | 0.8 | 10.0 (10.2) | 6.5 | 6.5 |
| グリーンツーリズム (田舎体験) の受入れ団体数 (団体) | 0 | 5 | 6 | 5 | 10 |
| アグリビジネススクール 累計卒業生数 (人) | 43 (H18 年度) | 219 | 251 | 268 | 493 |
| 学校給食における地場産品の 使用割合 | 23% | 28% | 35% | 30% | 30% |
| 野山や田畑の豊富さに対する 満足度 ※アンケートの無回答を除く | 78% (H18 年度) | 77% | 76% (78%) | 80% | 85% |

ほぼすべての項目で達成状況は上昇傾向にあります。特に「針葉樹・広葉樹の植林面積」は中間目標値を大きく上回りました。

【取組の一例】

● 「斐伊川放水路 1000 年の森づくり植樹祭」を開催しました。

この植樹祭は、斐伊川放水路事業で開発した森林等の自然環境を復元するために、国・県・市が共催して毎年行っているものです。平成 23 年度は 5 月 31 日に市内の小学校をはじめ約 550 人が参加して、およそ 2,700 本の広葉樹を植樹しました。



斐伊川放水路での植樹の様子

● 松くい虫被害対策を実施しています。

出雲市では、松くい虫被害からマツ林を守るため、健全なマツに薬剤の樹幹注入を行っています。また、被害を受けたマツは特別伐倒駆除等を行い、被害の拡大防止に努めています。あわせて、被害跡地には抵抗性マツ等を植栽し、森林再生を図っています。



健全なマツへの薬剤樹幹注入の様子



用語解説

トキ分散飼育

佐渡トキ保護センターで飼育されているトキが鳥インフルエンザなどの感染症で絶滅するのを防ぐのが目的で、平成 20 年に石川県、新潟県長岡市とともに本市が分散飼育地に決まりました。

グリーンツーリズム

都市住民が豊かな自然や美しい景観を求めて農山漁村を訪れ、交流や体験を通じて楽しむ余暇活動、田舎体験のことです。

アグリビジネススクール

平成 18 年 7 月に地域農業やアグリビジネスを実践・けん引する人材づくりの場として、県内で初めて本市が開校したものです。

基本目標 3 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち

■景観保全と緑地の確保

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|-------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 生垣奨励補助金件数 (件) | 24 | H21 年度で 終了 | H21 年度で 終了 | | |
| 1人当たりの都市公園 整備面積 (㎡) | 11.7 | 13.4 | 11.0 (10.4) | 13.5 | 14.0 |
| 街路樹の植栽本数 (本) ※累計値、中・高木が対象 | 2,330 | 2,524 | 2,557 | 2,880 | 3,430 |
| 出雲「花と緑」総合フェスティバル 入場者数 (人) | 20,000 | H21 年度で 終了 | H21 年度で 終了 | | |
| 公園や広場に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 47% (H18 年度) | 55% | 57% (56%) | 50% | 55% |
| 都市の緑化に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 51% (H18 年度) | 51% | 58% (57%) | 55% | 60% |
| 景観に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 42% (H18 年度) | 50% | 50% (50%) | 50% | 60% |

「1人当たりの都市公園整備面積」及び「街路樹の植栽本数」は中間目標値を下回りましたが、満足度は全ての項目で中間目標値を達成しています。

【取組の一例】

●^{のうてこ}陰手刈り技術研修会を実施しました。

築地松景観保全対策推進協議会では、築地松の剪定作業である「陰手刈り」の技術研修会を平成23年11月26日に開催し、10名の研修生が参加しました。担い手の少ない陰手刈り職人を育成し、出雲地域の伝統的な景観を守ります。



陰手刈りの技術を学ぶ研修生

■環境美化の推進

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|--------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| ポイ捨て一掃大作戦 参加者数 (人) | 7,000 | 9,343 | 9,618 | 10,000 | 15,000 |
| ポイ捨てごみの回収量 (kg) ※1回当たり、定点観測 | 8.5 (H19 年度) | 3.3 | 3.4 | 5.1 | 1.7 |
| 美化サポートクラブ 登録団体数 (団体) | 5 | 27 | 27 (29) | 20 | 40 |
| 環境美化に対する満足度 ※アンケートの無回答を除く | 28% (H18 年度) | 39% | 36% (36%) | 50% | 80% |

中間目標値を達成した項目は「美化サポートクラブ登録団体数」のみです。「環境美化に対する満足度」は中間目標値を大きく下回っています。

【取組の一例】

●不法投棄パトロールを行いました。

平成 23 年 11 月に地元の方々と関係機関（出雲市ポイ捨て禁止推進協議会、出雲警察署、島根県産業廃棄物協会）とが共同で「不法投棄パトロール」を実施しました。

人の目が行き届かない場所や、雑草が生い茂ったところには、テレビ、家具、家庭ごみやタイヤなど多くのごみが不法投棄されていました。

出雲市ポイ捨て禁止推進協議会では、監視カメラ・啓発看板を設置して不法投棄の防止に取り組んでいます。



監視カメラを設置して不法投棄を防ぎます。



不法投棄されたタイヤやテレビ

●宍道湖一斉清掃を行いました。

環境月間である平成 23 年 6 月 12 日に、宍道湖一斉清掃を行いました。地元住民など 1,500 人が参加して、3.27t（可燃 1.37t、不燃 1.90t）のごみが回収されました。



宍道湖一斉清掃の様子



用語解説

美化サポートクラブ

ごみのポイ捨てや犬のフンの放置などのない街づくりを推進するために、ボランティアで美化活動を行う団体等を市長が認定しています。

美化サポートクラブが活動する際には、傷害保険の加入手続きや清掃道具の貸出などのサポートを市が行います。



美化サポートクラブの美化活動の様子
（今岡工業株式会社）

基本目標 4 「もったいない」の心で築く 循環型のまち

■廃棄物対策と資源循環の推進

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|---------------------------|---------------------|---------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------|
| 廃棄物排出量 (t) ※〔〕は削減率 | 56,859 | 54,369 [-5%] | 55,202 [-3%] (62,632 [9%]) | 51,000 [-10%] | 45,000 [-20%] |
| 廃棄物再資源化量 (t) ※〔〕は再資源化率 | 10,790 [18.9%] | 10,765 [20%] | 10,759 [20%] (12,239 [20%]) | 15,300 [30%] | 18,000 [40%] |
| 廃食用油回収量 (ℓ) 【再掲】 | 28,230 | 38,368 | 37,681 (47,466) | 60,000 | 80,000 |
| 環境アンテナショップ 設置数 (店舗) | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| リサイクル団体回収補助 登録団体数 (団体) | 85 | 101 | 90 | 120 | 160 |

平成 23 年度の「廃棄物排出量」は平成 17 年度比 3%減、「廃棄物再資源化量」は 1.1%増となっており、3R のうちのリデュース・リサイクルがわずかながらも着実に進んでいると言えます。また、「リサイクル団体回収補助登録団体数」は前年に比べて大きく減少しましたが、回収量については増加しました。

【取組の一例】

●インクカートリッジを回収しています。

出雲市の新たな取組として、家庭用のプリンタなどで使用したインクカートリッジの回収を開始しました。平成 23 年度は 361 個を回収し、新たなインクカートリッジなどにリサイクルされました。



市役所本庁 1 階に設置された
インクカートリッジ回収ボックス

■環境と経済の好循環の推進

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|---|---------------------|---------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
| 風力発電施設の発電量 (kWh) ※〔〕は新出雲風力発電所を除く 風力発電施設の発電量 | 2,750,000 | 1,445,469 | 1,228,987 | 172,750,000 [2,750,000] | 172,750,000 [2,750,000] |
| 市の廃食用油回収によるバイオ ディーゼル燃料製造量 (ℓ) 【再掲】 | 28,230 | 14,600 | 15,600 (22,636) | 60,000 | 80,000 |
| 新エネルギー導入市有施設数 (施設) | 3 | 7 | 7 (9) | 10 | 30 |

「風力発電施設の発電量」はキララトゥーリマキ発電所の故障などによって運転が停止したことから、前年実績値より発電量が減少しています。なお、新出雲風力発電所の発電量は公表されていないため、前年実績値及び現状値には含まれていません。

【取組の一例】

●太陽光発電システムの設置費を補助しています。

出雲市では、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの導入を促進するため、平成 21 年度に「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」を創設しました。平成 23 年度末までに 700 件を超える申請があり、多くの家庭で太陽光発電が広がっています。



補助金を活用して設置された
太陽光パネル

基本目標 5 地球を考え 地域から実践するまち

地球温暖化防止の取組

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|---|-----------------------------|---------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 市の事務及び事業から発生 する CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) ※〔 〕は CO ₂ 削減率 | 8,480 | 9,459 〔12%〕 | 9,092 〔7%〕 | — | 7,890 〔-7%〕 |
| 環境 ISO 認証取得事業所数 (事業所) | 20 | 21 | 21 (27) | 30 | 40 |
| 家庭版環境 ISO 登録世帯数 (世帯) | 120 | 25 | 28 (28) | 500 | 1,000 |
| 学校版エコライフチャレン ジしまね参加小中学校割合 | 0% | 100% | 100% (100%) | 50% | 100% |
| 風力発電施設の発電量 (kWh) 【再掲】 ※〔 〕は新出雲風力発電所を除く 風力発電施設の発電量 | 2,750,000 | 1,445,469 | 1,228,987 | 172,750,000 〔2,750,000〕 | 172,750,000 〔2,750,000〕 |
| 新エネルギー導入 市有施設数 (施設) 【再掲】 | 3 | 7 | 7 (9) | 10 | 30 |
| 通勤距離 3km 未満の市職員の ノーマイカー通勤率 【再掲】 ※〔 〕は上記職員のマイカー利用 による CO ₂ 年間排出量 (kg-CO ₂) | 57% 〔74,400〕 (H18 年度) | 50% 〔47,095〕 | 48% 〔48,958〕 (43% 〔57,300〕) | 80% 〔34,800〕 | 80% 〔34,800〕 |

「市の事務及び事業から発生する CO₂ 排出量」は前年度に比べ改善が見られましたが、「通勤距離 3km 未満の市職員のノーマイカー通勤率」は低下しました。

また、「環境 ISO 認証取得事業所数」、「家庭版環境 ISO 登録世帯数」ともに昨年から横ばいの数値であり、家庭や事業所に向けて粘り強く PR する必要があります。

なお、家庭版環境 ISO は平成 23 年度をもって事業廃止とし、しまね自然と環境財団が実施する環境家計簿「エコライフチャレンジしまね」を活用した取組に移行することとしました。

【取組の一例】

●グリーンカーテン用苗の配布を行いました。

出雲市省エネルギービジョン推進協議会では、家庭でできる地球温暖化対策として、平成 23 年 6 月にグリーンカーテン用のゴーヤ苗 2,000 ポットを配布しました。

設置された方からは「冷房をつける時間が短くなった」、「朝日や西日の直射を防いでくれた」など、成果を喜び意見が多く寄せられました。



神門コミセンのグリーンカーテンの様子



用語解説

エコライフチャレンジしまね

しまね自然と環境財団が実施する“環境家計簿”です。家庭で毎月どれだけのエネルギーを使っているか、まるで家計簿をつけるように記録をつけることができ、家庭での省エネの取組を支援します。

「出雲市地域省エネルギービジョン」に掲げる数値目標の達成状況

平成20年2月に策定した「出雲市地域省エネルギービジョン」では、ビジョンを確実に推進するため、年度ごとに、CO₂の排出量や取組状況を点検・評価することとしています。

以下に目標数値や現状など、点検・評価内容を示します。

| | |
|-------------|--|
| 目標数値 | エネルギー起源CO₂排出量を平成18年度(2006)比 約20%削減 平成2年度(1990)と同じ水準に抑制(産業部門を除く) |
|-------------|--|

取組の現状と数値目標

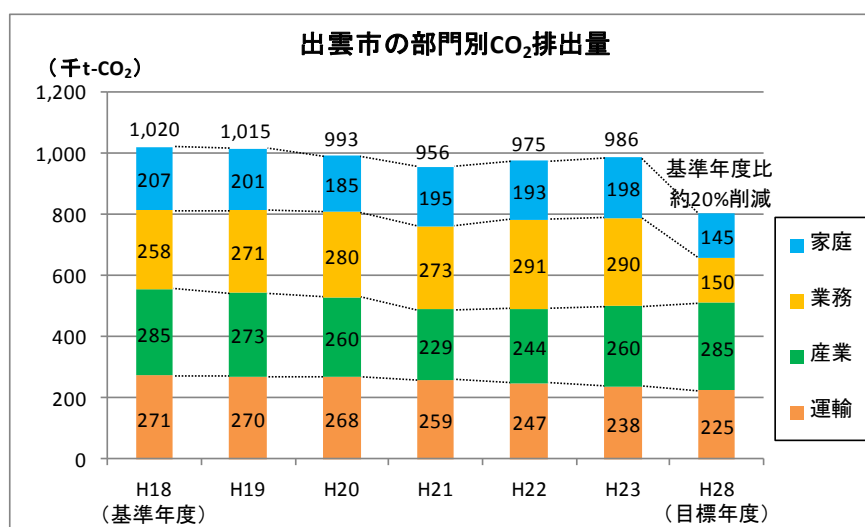
| 目標設定項目 | H18(2006) 基準年度値 | H22(2010) 前年実績値 | H23(2011) 現状値 | H28(2016) 最終目標値 |
|---|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ※〔〕は基準年度比削減率 | 1,020,354 | 974,966 〔-4.4%〕 | 986,182 〔-3.3%〕 | 約20%削減 |
| 家庭部門 | 206,704 | 192,845 〔-6.7%〕 | 197,684 〔-4.4%〕 | 30%削減 |
| 業務部門 | 258,145 | 290,746 〔12.6%〕 | 290,139 〔12.4%〕 | 42%削減 |
| 産業部門 | 284,828 | 244,034 〔-14.3%〕 | 260,335 〔-8.6%〕 | — |
| 運輸部門 | 270,677 | 247,341 〔-8.6%〕 | 238,023 〔-12.1%〕 | 17%削減 |

※ 出雲市地域省エネルギービジョンでは基準年を H18(2006)年度とし、斐川町との合併前の出雲市を対象として数値目標を設定しています。

グラフをみると、CO₂排出量は基準年度と比べて減少していますが、近年増加傾向にあることがわかります。

部門別にみると、運輸部門の基準年度比削減率が最も高く(-12.1%)、低燃費車両の導入が進んでいると考えられます。一方で、業務部門は唯一基準年度値を上回っており、床面積の増大に伴う電力消費量の増加などが原因と思われる。

業務部門においては、節電や省エネ機器への買い替えを進めていくことで、CO₂排出量の削減が期待できます。



「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅡ」に掲げる数値目標の達成状況

本市では平成 19 年 3 月に「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅡ（出雲市役所地球温暖化対策実行計画）」を策定し、市の事務及び事業から発生する温室効果ガスの排出抑制に向けた取組を推進してきました。

なお、「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅡ」では、斐川地域にある市有施設は対象外であったため、平成 24 年 4 月に計画の見直しを行い、新たに「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」を策定し、引き続き温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

| | |
|-------------|--|
| 目標数値 | ①CO₂ 排出量を平成 28 年度までに平成 17 年度比 7.0%削減 ②平成 28 年度までに通勤距離 3km 未満のノーマイカー通勤率 80%以上 |
|-------------|--|

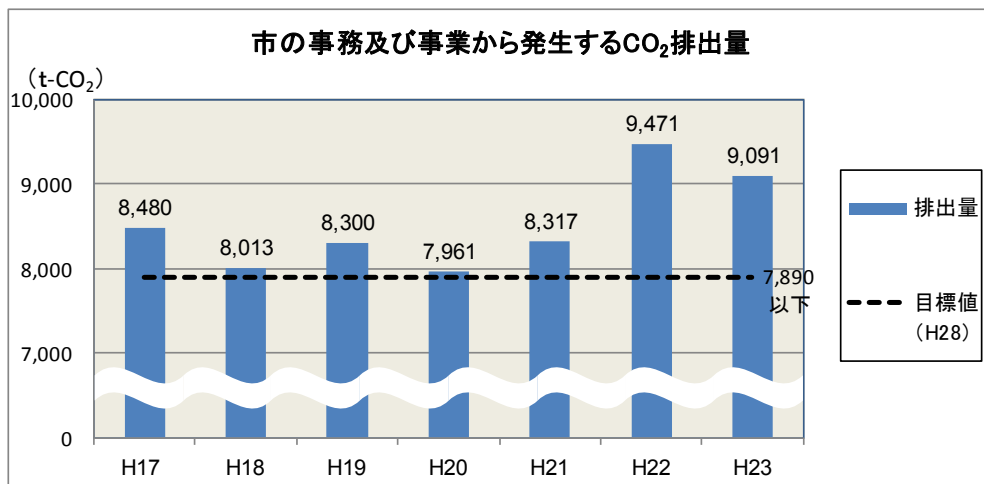
取組の状況と数値目標

| 目標設定項目 | H17 (2005) 基準年度値 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|--|-----------------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 市の事務及び事業から発生する CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) ※ [] は CO ₂ 削減率 | 8,480 | 9,471 [12%] | 9,091 [7%] | — | 7,890 [-7%] |
| 通勤距離 3km 未満の市職員のノーマイカー通勤率 ※ [] は上記職員のマイカー利用による CO ₂ 年間排出量 (kg-CO ₂) | 57% [74,400] (H18 年度) | 50% [47,095] | 48% [48,958] | 80% [34,800] | 80% [34,800] |

※ いずもエコオフィス・アクションプログラムⅡでは基準年を H17(2005)年度とし、斐川町との合併前の出雲市を対象として数値目標を設定しています。

平成 23 年度の「市の事務及び事業から発生する CO₂ 排出量」は 9,091t-CO₂ となっており、前年実績値に比べて改善しましたが、中間目標値には及びませんでした。これは、市役所本庁舎や総合医療センターの建設をはじめとする市有施設の規模増大などが原因と考えられます。

また、「通勤距離 3km 未満の市職員のノーマイカー通勤率」は中間目標値に対して大きく下回りました。



基本目標 6 ともに学び行動する 環境意識が高いまち

■環境学習・環境保全活動の推進

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|----------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| こどもエコクラブ登録団体数 (団体) | 8 | 9 | 9 (19) | 20 | 30 |
| 環境 ISO 認証取得事業所数 (事業所)【再掲】 | 20 | 21 | 21 (27) | 30 | 40 |
| 家庭版環境 ISO 登録世帯数 (世帯)【再掲】 | 120 | 25 | 28 (28) | 500 | 1,000 |
| 学校版エコライフチャレンジ しまね参加小中学校割合【再掲】 | 0% | 100% | 100% (100%) | 50% | 100% |
| ポイ捨て一掃大作戦参加者数 (人)【再掲】 | 7,000 | 9,343 | 9,618 | 10,000 | 15,000 |

すべての項目において概ね横ばいで推移しており、中間目標値を達成しているのは「学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合」のみです。

■環境情報の提供と共有

| 目標設定項目 | H17 (2005) 計画策定時 | H22 (2010) 前年実績値 | H23 (2011) 現状値 | H23 (2011) 中間目標値 | H28 (2016) 最終目標値 |
|----------------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 環境新聞の発行回数 (回) ※年間値 | 2 | 3 | 6 | 4 | 6 |
| くらしの中の環境フェア 入場者数 (人) | 2,000 | H21 年度で 終了 | H21 年度で 終了 | | |
| 自然体験事業参加者数 (人) 【再掲】 | 600 | 1,994 | 1,180 | 1,000 | 1,500 |
| 出雲「花と緑」総合フェスティバル 入場者数 (人)【再掲】 | 20,000 | H21 年度で 終了 | H21 年度で 終了 | | |
| 出雲産業フェア入場者数 (人) | 13,000 | 10,000 | 10,000 | 13,000 | 13,000 |

環境新聞は市の広報紙の発行にあわせて発刊し、中間目標値を達成しました。引き続き、広報誌やホームページなどを利用して積極的に環境情報の発信を行っていく必要があります。

【取組の一例】

●「協議会だより」を発行しました。

出雲市省エネルギービジョン推進協議会は、広報いずもに「協議会だより」を計6回掲載し、クールビズなど季節に合わせた省エネの紹介を中心に、環境に関する情報を発信しました。



用語解説

こどもエコクラブ

幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、平成7年に発足しました。

子どもたちの関心や興味に基づいて、自然観察やリサイクル活動、地球温暖化防止活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に取り組みます。



こどもエコクラブ登録団体の清掃活動の様子
(わにっ子わくわくにこにこクラブ)

神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲

出雲市環境レポート 平成 24 年版

発行日：平成 24 年 12 月

編集・発行：出雲市文化環境部環境政策課

〒693-8530 出雲市今市町 70 番地 TEL：0853-21-2211（代表）